

2020年12月25日
東芝プラントシステム株式会社

台湾でガスタービンコージェネレーションシステム建設プロジェクトを受注

当社は、このたび台湾内におけるガスタービンコージェネレーションシステムの建設プロジェクトを10月28日に受注いたしました。

今回受注したプロジェクトは、CHIMEI Corporationが台湾6大直轄市の一つ台南市内の自社工場内に建設するガスタービンコージェネレーション設備であり、老朽化した既存の蒸気供給設備の更新に合わせて、総合エネルギー効率の向上を目的として、1時間あたり160トンの蒸気に加えて、2基の発電設備による合計60MWの電力を自社工場設備へ供給するためのものです。

CHIMEI Corporationは台湾で1960年に設立、電子機器や家電製品などに幅広く使用される衝撃に強いABS樹脂の生産高世界一を誇る化学工業メーカーです。

CHIMEI Corporationは、同社が掲げる、『クリーン&グリーン』のビジョンに沿って、CO2排出量を削減するために革新的なプロセスの発見に取り組んでおり、新しいガスタービンコージェネレーションシステムに投資することで、排出量を大幅に削減したいと考えています。

本プロジェクトは、当社が台湾で初めて主契約者となるプロジェクトです。当社の信頼性や性能の観点から日本基準での品質と東南アジア地域を中心とした、アフリカなど各地域における数多くのガスタービン複合発電設備の供給実績や技術力が高く評価されたことで受注に至りました。

本プロジェクトにおいて、当社はエンジニアリング並びに発電設備の提供を行い、東芝エレクトロニクス台湾社と協力して土木・建築、据付、試験・調整を行うことで、2022年11月の完成を予定しています。

当社は、今後も国内外で実績に裏付けされた技術力・信頼性により、営業活動を更に積極的に展開し、グローバル事業の拡大を目指してまいります。

*EPC : Engineering (設計) 、Procurement (調達) 、Construction (施工・試運転) までの一括請負